

山科でひろがる子ども食堂

—みんなで語ろう、つながろう—

2023

参加費

無料



「子ども食堂」の取り組みに関心のある方同士が知り合い、
交流できる場として実施している講演会。

今年のテーマは「つながり」です。

子ども食堂の全国ネットワークを作っている「むすびえ」と共に、
子ども食堂同士の「つながり」について考えます。

日時

令和5年10月22日（日）

14:00-17:00（13:30-受付開始）

スケジュール

14:00-14:10 オープニング

14:10-15:00 講演会

15:00-15:10 休憩

15:10-15:40 ディスカッション

15:40-16:20 70Fで意見交換

16:20-16:30 オープンマイク

16:30 エンディング

対象者

子ども食堂運営に興味関心がある方
子ども食堂をこれから始めたい方

講師・ゲスト紹介



江副 真文 さん

NPO法人 全国子ども食堂支援センター むすびえ

大学卒業後、大阪の商業施設内のレストランフロアの総合ディレクションなどを務めた後、食を軸にした地域や居場所での人のつながりをコーディネートする活動を地元である神戸で始め、2021年4月よりむすびえに参画。広報や、寄付を呼びかける「ファンドレイジング」の担当をしつつ、企業・団体との協働事業のコーディネートもおこなっている。



大場 孝弘 さん

まちのちゃぶ台ネットワーク山科 世話人

元山科青少年活動センター所長。在職時、中高生年代の若者と地域の人たちの関わりをつくることの必要性和難しさを感じ、その頃注目され始めた子ども食堂に関心を持つ。若者の生活圏の近くにいろいろなタイプの子どもの食堂が広がればと考え、「まちのちゃぶ台ネットワーク山科」というネットワークを創設。退職後も世話人として活動を続けている。



コーディネーター 谷 亮治 さん
まちづくりアドバイザー 山科区担当

会場

山科青少年活動センター
スポーツルーム
(京都市山科区竹鼻四丁野町42)



Q：“まちのちゃぶ台ネットワーク山科”とは？

山科で暮らす子どもや若者のことを気にかけている人たちが交流・応援し、気軽につながれるしくみづくりを目的にして生まれました。食堂を開きたい人、手伝いたい人、食材や資金の応援をしたい人が身近にいます。また、子どもたちの学習面を応援するボランティアな活動も広がっています。

- ちゃぶ台ネットワークに関する詳細はこちら
☞ <http://ys-kyoto.org/yamashina/kd-tl/>

問い合わせ先

京都市山科区社会福祉協議会
TEL:075-593-1294
(電話受付時間 平日9:00-17:00)

共催：京都市山科区社会福祉協議会
まちのちゃぶ台ネットワーク山科
協力：京都市山科青少年活動センター

申込方法



- ①左記参加フォームから申し込み
- ②山科区社会福祉協議会に連絡する
TEL:075-593-1294

締切：令和5年10月15日（日）まで